



夏の人気イベント開催！！

奥松島の旬を「縄文風」に食す！

7月9日、大人気イベント「縄文グルメを食そう！ウニ」を開催、約40名のウニ好きさんが集合しました。



▲石器で口のまわりを叩く参加者

まずは「縄文人とウニ」についての講座から。イベント会場である史跡公園内の貝塚から、ウニのトゲや殻が見つかったこと、縄文人が素潜りでウニを獲っていたこと、ウニの生態などをじっくり学んでいただきました。

講座の後は、石器を使ってウニ剥きに挑戦しました。「アリストレスの提灯」と呼ばれるウニの口を取り、殻を大きくあけてワタを取ったら、ようやくウニの身が見えました。



特製の縄文土器に綺麗によそってウニ丼にさせていただきます！大人も子どもも幸せそうにウニを頬張っていました。

縄文の技、土器作りに挑戦！

7月22、23日、縄文村長寿イベント「縄文教室」の初回「縄文土器作り」を開催しました。今年も2日間で土器作りに挑戦する「本格派コース」、23日のみの「オリジナル土器作りコース」の2コースを設けました。

里浜貝塚出土の土器や、他の遺跡から出土する土器を参考に土器を作る「本格派コース」。ほとんどが昨年度も参加し、より良い作品を作ろうと取り組んでいました。



▲里浜貝塚出土の土器を参考に制作する「本格派コース」。



▲はじめての土器作りに真剣。

初参加も多かった「通常コース」は、苦戦する場面がありながらも、思い思いに土器作りを楽しんでいた様子。

「思うように形が出来ないけど楽しい」「縄文人ってクリエイティブ！」と土器作りに夢中になっていました。

縄文教室はあと2回。土器の「野焼き」と「縄文料理」に挑戦する予定です。

縄文シティサミット in ひがしまつしま

来月、東松島市コミュニティセンターで、全国の縄文遺跡を有する17の都市が集まる「縄文シティサミット」が開催されます。「縄文に学ぶまちづくりと持続可能な社会」と題した講演、加盟都市の首長によるサミットを一般公開します。

縄文シティサミットとは？

「縄文」でつながる全国17の都市が集い、縄文文化の魅力発信や縄文を活かしたまちづくりの推進を目的に開催されているサミット。今年は東松島市が開催地となりました。

今年のテーマは？ 縄文人に学ぶSDGs

「縄文人は環境の変化や災害を乗り越え、いかに生きてきたか？」遺跡に残された痕跡から縄文人に学びます。



縄文シティサミット in ひがしまつしま

講師・コーディネーター
水ノ江和同氏 (同志社大学教授)

東松島市コミュニティセンター

2023
10.15 SUN
15:00 - 17:30

聴講お申込み：奥松島縄文村歴史資料館
TEL 0225-88-3927

古代の高貴な証し。貝紫染め体験。

7月30日、「貝紫染め体験」を開催しました。「貝紫染め」は、古代の地中海を中心に広まった、巻き貝を使った染め物です。里浜貝塚からも出土する「アカニシ」という貝から染料を取り出しました。

写真の黄緑色の部分が、染料となる「パープル腺」。あまりの少なさにびっくり！そして「これが本当に紫色になるの…？」と不安げです。

大事に取り出したパープル腺を

乳鉢ですりつぶし、海水を混ぜて染料に。思い思いに着色していきます。

日光のもと、干していくと紫外線と反応してみるみる紫色に！それまで半信半疑だった皆さんのびっくりした表情が印象的でした。



▲染色中。染料は茶色に変色。



▲染色後。紫に！